間伐材を利用した薪割り体験イベントなどをEVIと連携。

佐賀県、温暖化防止ネット様を訪問2015年1月12日（協力：園田氏）

1月12日、佐賀県にある間伐材作業場(嘉瀬川ダム近傍)にて、地球温暖化防止活動推進センターに指定され活動している、特定非営利活動法人温暖化防止ネット様へ訪問し地域活動支援・コンソーシアム推進部門事務局高木淳剛理事様よりお話を伺いました。
取組の一環として、用材として利用できない間伐材を短い丸太の状態にまで加工し、無償で提供し、チェーンソーなどの機械も自由に使うことができ、作業場で薪の状態まで加工して持ち帰ることもできるそうです。このサービスは非常に好評で、ほぼ全数引き取られていくとのこと。センターは、子どもたちを招いて、このような間伐材を利用した薪割り体験イベントを、体験学習・環境教育として実施しているが、これをEVIと組み合わせたイベントにしたいという提案を頂きました。
実際にどのようにしてクレジットが生まれるか。そのクレジットを購入することによって、どのように森が守られていくかを学習してもらう機会になるのではないか。企画案を後日提案することとなりました。また、竹を燃料として用いてシクラメンを栽培されている、唐津にあるレストラン、海浜館のオーナーである瀬戸さんを紹介頂だき環境に配慮した商品というストーリーと共に販売していく意向のようです。竹材の有効活用に悩みを抱えている地域も多いことから、具体的な取組状況を伺いに行く予定です。

温暖化防止ネット　高木理事

機会は自由に使うことが可能

加工済みの間伐材

加工中の間伐材

カーボン・オフセット農作物、商品開発に向けて

佐賀県、有限会社千綿農産様を訪問2015年1月12日（協力：園田氏）

1月12日、2件目のご訪問先として有限会社千綿農産、千綿正明代表取締役にお会いしました。千綿氏は、畑に海水から作った天然塩をまいて糖度を増したたまねぎを栽培するなど、従来の農業の枠に留まらない、ユニークな取り組みを行っています。

佐賀市議ということもあり、FBなども使って情報発信すると共に、通信販売、大学連携などの他、薬効に着目した商品開発も進められている。

当方は、規格外のために農協に卸せないものが相当数あるという話を伺い、であれば、その再商品化のお手伝いができるのではないかと考え訪問しましたが、道の駅や直売所等、取り扱い先を確保しており、廃棄処分するものは皆無という話でした。

しかし、捨てることは「当たり前」のたまねぎ農家が大多数を占めるといいますのでEVIのサポートがあれば喜ばれるのではないか。次回に向け直接話ができる場を設けて頂くようお願いしました。

　天然塩をまくことにより、一般的なたまねぎの倍の10度程度まで糖度を高めた「ちわたま」は、害虫がつきにくくなったこともあり、減農薬にもつながり、まさしく環境配慮・健康配慮商品である。そこで、オフセット商品にしてはと、ご提案したところ快諾され、即、佐賀県のクレジットをご発注頂きました。

千綿農産　千綿代表取締役

ユニークな取り組みでたまねぎを作っています

地球にやさしい町づくりを考える大学とEVIの恊働

九州大学大学院訪問2015年1月13日（協力：園田氏）

1月13日、九州大学大学院の統合新領域学府ユーザー感性学専攻の教授、坂口光一氏を訪問させていただきました。

坂口先生は、感性に立脚したものづくりや、ひとづくり、まちづくりを手がけられているとのこと。ご自身も大学院のOBであり、卒業後も、住民が自発的に地球に優しい生活をしていくためにはどうすればよいか議論していたが、オフセットにおいては、「クレジット」という分かりにくい概念を分かりやすく伝える手法や、毎日の生活の中で継続的に使っていく仕組みがないだろうかという点で苦労されていた。

そこで、EVIをご紹介したところ非常に関心を持って頂け、特に森のめぐみのおとりよせと6次産業化のサポートが好評であった。当該専攻には、PTL(プロジェクトチームラーニング)という、具体的なプロジェクトを企業や地域と推進していくという必須科目があり、そこでは大木町のい草の商品開発や、唐泊恵比須かきを活用した、まちおこしや地元では有名な温泉地、杖立温泉の活性化などを行ってきたそうです。

大学の中でも特に地域との結びつきが強い専攻であると共に、最近は環境を学んだ学生が多く入学しているとのことで、是非具体的なテーマを決めて、コラボレーションができればとのことです。なお、当該専攻には「感性コミュニケーションコース」というコースがあり、こちらでは、特に子供の感性に着目した研究を行っており、定期的に絵本ミュージアムというイベントを実施しており、EVIの環境読み聞かせ絵本などでの協業もあるのではないかとおもいます。

EVI環境読み聞かせ絵本https://www.evic.jp/evi/evi_ehon/index.html

九州大学　坂口教授

九州大学大学院の統合新領域学府